

松 本 大 学 学 則

学校法人松商学園

松 本 大 学

松 本 大 学 学 則

第 1 章 総 則

第 1 条 本学は松本大学と称する。

(目 的)

第 2 条 本学は、教育基本法及び学校教育法の趣旨に則り、本学園創立の精神たる自主独立に基づく人間教育を行うことにより、地域社会の振興と地域文化の発展に資する人材を育成し、もって平和で豊かな社会の創造に貢献することを目的とする。

(自己評価等)

第 3 条 本学は、教育水準の向上を図り、大学としての目的及び社会的使命を達成するため、教育研究活動等の状況について自ら点検及び評価を行う。

2 前項の点検及び評価を行うにあたり、項目の設定、実施体制等については別に定める。

第 2 章 大学院、学部、学科、学生定員、修業年限及び教育研究上の目的

(学科及び学生定員)

第 4 条 本学において設置する学部・学科及びその学生定員は次のとおりとする。

学 部	学 科	入学定員	収容定員
総合経営学部	総合経営学科	80名	320名
	3年次編入学	10名	20名
	観光ホスピタリティ学科	80名	320名
	3年次編入学	10名	20名
人間健康学部	健康栄養学科	80名	320名
	3年次編入学	5名	10名
		(2学級)	(8学級)
	スポーツ健康学科	80名	320名
	3年次編入学	10名	20名

2 各学部及び学科の教育研究上の目的については次のとおりとする。

【総合経営学部】

地域社会の総合的運営に関わる研究を推進し、それを基盤に、社会を構成する諸組織体のマネジメン

トに関する理解と能力を高めつつ、地域社会を総合的に捉える素養と、それにもとづく総合的な経営能力を養う。もって活力ある地域社会の創造に貢献しうる人材を養成する。

〈総合経営学科〉

社会一般及び地域社会を構成する重要な要素である企業に関わる総合的な経営知識を教授し、地域社会の運営を視野に入れて行動しうる、良識ある企業人の養成を目指すとともに、企業社会で活動するための知識・技術を涵養する。

〈観光ホスピタリティ学科〉

ホスピタリティの精神・技術を活かし我が国観光の発展に寄与するとともに、持続可能な観光と福祉社会の基盤となる地域づくりに貢献するため、地域社会全体の運営にかかわる知識・技術を身につけた人材を養成する。同時に、現代的課題である万人対応型の観光に資する能力をも涵養する。

【人間健康学部】

美しく豊かな自然に恵まれた環境のなかで、創造性に富み、人間性や社会性が豊かな人づくりを目指し、「食と栄養」、「運動・スポーツ」を通して社会の活性化を図るとともに、人々の健康の維持・増進を図り、医療・福祉の向上に寄与することを目的とする。

〈健康栄養学科〉

(1) 疾病を予防し、健康を維持・増進する食生活を実現するために、食や健康そして障がいに関わる問題を教育・研究する。

(2) 人間の栄養状態を的確に把握し、適正化する方法を健康科学の面から探求し、専門分野において社会に貢献できる人材を育成する。

(3) 人々の健康づくりおよび、地域の活性化に関わる課題を「人間栄養学」の視点から健康と栄養との関係を捉え、総合的に分析、評価できる高い専門性を備えた人材を育成する。

〈スポーツ健康学科〉

(1) 人々の健康づくりおよび、地域の活性化に関わる課題を「運動・スポーツ」の視点から研究・教育する。

(2) 幅広い教養と人間力を土台に、「運動・スポーツ」を学際的・総合科学的視点から捉え、多角的に分析・把握できる高度な専門性と実践力を備えた人材を育成する。

(修業年限及び在学年数)

第5条 本学の修業年限は4年とする。

2 学生は8年を超えて在学することはできない。ただし、教授会の議を経て学長が所定の年限を超えて在学することもやむを得ないと認めた場合は、この限りではない。

(大学院)

第6条 本学に大学院を置く。

2 大学院の学則は別に定める。

第3章 学年、学期及び休業日

(学 年)

第7条 学年は4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(学 期)

第8条 学年を次の2学期に分ける。

前学期 4月1日から9月30日まで

後学期 10月1日から翌年3月31日まで

(休業日)

第9条 休業日は次のとおりとする。

日曜日及び国民の祝日に関する法律に規定する休日

本学の開学記念日(4月28日)

春期休業日 夏期休業日 冬期休業日 (当該学年暦による)

2 必要がある場合、学長は、前項の休業日を臨時に変更することができる。

3 第1項に定めるもののほか、学長は、臨時の休業日を定めることができる。

第4章 入学、転学、転学科、退学、除籍、休学及び復学

(入学の時期)

第10条 入学の時期は学年の始めとする。

2 前項の他にも、教授会の審議の上、学長が必要と認めた場合は、学期の区分に従い入学することができる。

(入学資格)

第11条 本学に入学することのできる者は、次の各号の一に該当する者とする。

(1) 高等学校を卒業した者

(2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者

(3) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者

(4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者

(5) 文部科学大臣の指定した者

(6) 大学入学資格検定規程(昭和26年文部省令第13号)により文部科学大臣の行う大学入学資格検定に合格した者

(入学の出願)

第12条 本学に入学を志願する者は、本学所定の書類に受験料を添えて提出しなければならない。なお、提出の時期、方法、提出すべき書類等については別に定める。

(入学者の選考)

第13条 前条の入学志願者については、別に定めるところにより、選考を行う。

(入学手続き及び入学許可)

第14条 前条の選考の結果に基づき合格の通知を受けた者は所定の期日までに、保証人連署の誓約書その他本学所定の書類を提出するとともに、所定の入学金、授業料、その他の納入金を納付しなければならない。

2 学長は、前項の入学手続きを完了した者に入学を許可する。

(転学・転入学・編入学)

第15条 本学から他の大学に転学を希望する者は、理由を具し、本学学長の許可を得なければならない。

2 本学に他の大学より転入学を志願する者がいるときは、選考の上、相当年次に入学を許可することがある。

3 他の大学2年修了者、短期大学又は高等専門学校の卒業生、専修学校課程修了者（学校教育法第82条の10に規定する者に限る）が編入学を希望する場合は相当年次に入学を許可することがある。

4 前項の規定により入学を許可された者の既に修得した授業科目及び単位数の取扱い並びに在学すべき年数については、教授会の議を経て学長が決定する。

5 資格取得に係る課程をもつ学科への転入学、編入学の制限等については別に定める。

(転学部・転学科)

第16条 本学の学生で、他の学部または同一学部の他の学科に転学部または転学科を願ひ出る者がいるときは、選考の上、これを許可することができる。

2 転学部・転学科に関する規程は別に定める。

(退学)

第17条 退学しようとするものは学長の許可を受けなければならない。

(休学)

第18条 疾病その他やむを得ない事情により2ヶ月以上修学することのできない者は、学長の許可を得て休学することができる。

2 疾病その他の事由で休学することが適当でないと認められる者については、学長は休学を命ずることができる。

(休学の期間)

第19条 休学の期間は1学期を以って単位とするが、1年を超えることはできない。ただし、特別の事由がある場合は、引続き更に1年まで延長することができる。

2 休学の期間は通算して4年を超えることができない。

3 休学の期間は第5条第2項の在学年限に算入しない。

(除籍)

第20条 次の各号の一に該当する者は、教授会の議を経て学長が除籍する。

(1) 第5条第2項に定める在学年限を超えた者。ただし、第5条第2項の但し書きに該当する者を

除く。

- (2) 第19条第2項に定める休学の期間を超えてなお修学できない者
- (3) 疾病その他の事由により成業の見込みがないと認められる者
- (4) 授業料、その他の納入金を所定の期日までに納付せず、督促してもなお納付しない者

(復学および復籍)

第21条 休学期間中にその事由が消滅した場合は、学長の許可を得て復学することができる。

- 2 第17条による退学者および前条の規定による除籍者については、教授会の議を経て学長が必要と認められた場合は、復学・復籍することができる。
- 3 前項により復学する場合は、教授会の議を経て学長が復学相当年次を決定する。

第5章 教育課程

(教育課程及び授業科目)

第22条 本学の教育課程は、別表(1)のとおりとする。

- 2 健康栄養学科の学生で栄養士の資格および管理栄養士国家試験の受験資格を取得しようとする者は、栄養士法並びに同法施行規則及び管理栄養士学校指定規則に則り、本学が開設する授業科目を履修し、単位を修得しなければならない。該当する授業科目及び単位数は別表(2)及び(3)のとおりとする。

第23条 前条に定めるもののほか博物館、教員免許課程、司書教諭、介護職員初任者研修に関する科目を置く。

- 2 博物館に関する授業科目の単位数等は別表(4)のとおりとする。
- 3 教員免許課程に関する授業科目等については別に定める。
- 4 司書教諭に関する授業科目の単位数等は別表(5)のとおりとする。
- 5 介護職員初任者研修に関する履修については別に定める。

(単位の計算方法)

第24条 各授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の各号により計算するものとする。

- (1) 講義については15時間の授業をもって1単位とする。ただし、別に定める授業科目については30時間の授業をもって1単位とする。
- (2) 演習については30時間の授業をもって1単位とする。ただし、別に定める授業科目については15時間の授業をもって1単位とする。
- (3) 実験、実習及び実技については45時間の授業をもって1単位とする。ただし、別に定める授業科目については30時間の授業をもって1単位とする。

(単位の授与)

第25条 授業科目を履修し、その試験に合格した者には、所定の単位を与える。

(学習の評価)

第26条 試験等の評価は、S、A、B、C、Dをもって表し、C以上を合格とする。

第6章 卒業等

(卒業の要件)

第27条 本学を卒業するためには、学生は4年以上在学し、別表(1)に従って124単位以上を修得しなければならない。

(卒業)

第28条 本学に4年以上在学し、本学則に定める授業科目及び単位数を修得した者については、教授会の議を経て、学長が卒業を認定する。

2 学長は、卒業を認定した者に対して、卒業証書を授与する。

(学士の称号)

第29条 前条により卒業した者には学士の称号が与えられる。

(他の短期大学又は大学における授業科目の履修等)

第30条 本学は、教育上有益と認めるときは、学生が他の短期大学又は大学において履修した授業科目について修得した単位を、30単位を超えない範囲で本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2 前項の規定は、学生が外国の短期大学又は大学で修得した単位にも適用する。この場合修得したものとみなすことのできる単位数は、前項及び第31条第2項の単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

3 学生の留学について必要な事項は別に定める。

(大学以外の教育施設等における学修)

第31条 本学は、教育上有益と認めるときは、学生が行う短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を、本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。

2 前項により与えることができる単位数は、前条第1項により修得したものとみなした単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

(入学前の既修得単位の認定)

第32条 本学は、教育上有益と認めるときは、学生が入学する前に短期大学又は大学において履修した授業科目について修得した単位を、入学後の本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2 学生が入学する前に行った前条第1項に規定する学修を、本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。

3 前2項により修得したものとみなし、又は与えることのできる単位数は、転学等の場合を除き、本

学において修得した単位以外のものについては、合わせて30単位を超えないものとする。

第7章 受験料、入学金、授業料その他の費用

(受験料等の金額)

第33条 本学の受験料、入学金、授業料等の金額は別表(6)のとおりとする。

(授業料の納入期)

第34条 授業料は前期分と後期分とに分けてそれぞれ4月と9月に分納するものとする。

2 所定の期日までに授業料その他を納付することができないときは、保証人連署で願い出て納付猶予の許可を受けなければならない。

(退学及び停学の場合の授業料)

第35条 学期の途中で退学又は除籍された者の当該期分の授業料は徴収する。

2 停学期間中の授業料は徴収する。

(休学の場合の授業料)

第36条 休学の学期に対する授業料は徴収しない。ただし、在籍料を徴収する。

(復学の場合の授業料)

第37条 学期の中途において復学した者は、復学した月から当該期末までの授業料を、復学した月に納付しなければならない。

(学年の途中で卒業する場合の授業料)

第38条 学年の途中で卒業する見込みの者は、卒業する見込みの月までの授業料を納付するものとする。

(納付した授業料等)

第39条 納付した受験料、入学金及び授業料等は原則として返付しない。

2 授業料について必要な事項は別に定める。

第8章 教職員組織

(職員組織)

第40条 本学に学長、学部長、学科長、教授、准教授、専任講師、助教、助手及び事務職員・労務職員を置く。

2 前項の他、必要に応じて副学長を置くことができる。

第9章 教授会

(教授会)

第41条 本学の各学部にて、重要な事項を審議するため教授会を置く。

- 2 教授会は、学長が次に掲げる事項について決定を行うに当たり意見を述べるために審議する。
 - (1) 学生の入学、卒業及び課程の修了
 - (2) 学位の授与
 - (3) 前二項に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が定めるもの。
- 3 教授会は、前項に規定するもののほか、学長及び学部長がつかさどる教育研究に関する事項について審議し、また学長、学部長の求めに応じて意見を述べる。
- 4 前項のほか、全学的事項を審議・調整するため合同教授会を置く。

(教授会の構成)

第42条 教授会は学長、学部長、学科長、専任の教授・准教授・講師・助教を以って組織する。

- 2 副学長を置く場合は、前項の規定に副学長を加える。
- 3 本条の規定にかかわらず、教授会が必要と認めるときは、教授会に他の職員を加えることができる。

(その他)

第43条 本章に定めるもののほか、教授会に関し必要な事項は別に定める。

第10章 科目等履修生・聴講生・外国人留学生・帰国生徒入学生

(科目等履修生)

第44条 本学の授業科目の履修を希望する者がいるときは、本学の教育に支障のない限りにおいて科目等履修生として教授会の議を経て学長が履修を許可することがある。

- 2 科目等履修生には、本学則第25条及び第26条の規定を準用して単位を与えることができる。
- 3 科目等履修生に関して必要な事項は別に定める。

(聴講生)

第45条 本学において特定の授業科目の聴講を希望する者がいるときは、本学の教育、研究に支障のない限り、選考の上、教授会の議を経て学長が聴講生として聴講を許可することがある。

- 2 聴講生に関して必要な事項は別に定める。

(外国人留学生)

第46条 外国人で、大学において教育を受ける目的をもって入国し、本学に入学を志願する者がいるときは、選考の上、教授会の議を経て学長が外国人留学生として入学を許可することがある。

- 2 外国人留学生について必要な事項は別に定める。

(帰国生徒入学生)

第47条 日本国籍を有する満18歳以上の者で、外国で学校教育を受けた者が本学に入学を志願する場合は、選考の上、教授会の議を経て学長が帰国生徒入学生として入学を許可することがある。

- 2 帰国生徒入学生について必要な事項は別に定める。

第11章 公開講座（開放講座）

（公開講座）

第48条 本学は、本学学生および一般市民を対象に公開講座を実施することがある。

- 2 公開講座に関する細則は別にこれを定める。

第12章 賞 罰

（表 彰）

第49条 学生として表彰に値する行為があった者は、教授会の議を経て学長が表彰する。

（罰 則）

第50条 本学の規則に違反し、又は学生としての本分に反する行為をした者は、教授会の議を経て、学長が懲戒する。

- 2 前項の懲戒の種類は、退学、停学及び訓告とする。
- 3 前項の退学は次の各号の一に該当する学生に対して行う。
 - (1) 性行不良で改善の見込みがないと認められる者
 - (2) 学力劣等で成業の見込みがないと認められる者
 - (3) 正当な理由なくて出席常でない者
 - (4) 本学の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した者

附則

- 1 本学則は平成14年4月1日から施行する。
- 2 本学則は平成16年4月1日から施行する。
- 3 本学則は平成17年4月1日から施行する。
- 4 本学則は平成18年4月1日から施行する。
- 5 本学則は平成19年4月1日から施行する。
- 6 本学則は平成20年11月1日から施行する。ただし、第36条の変更については平成21年4月1日から施行する。
- 7 本学則は平成21年4月1日から施行する。
- 8 本学則は平成23年4月1日から施行する。
- 9 本学則第23条、第23条及び第33条については、平成23年度入学生から適用する。ただし、第22条については、人間健康学部健康栄養学科の平成21年度入学生・平成22年度入学生にも適用する。
- 10 本学則は平成24年4月1日から施行する。
- 11 本学則第22条の別表(1)及び同2項の別表(2)、(3)、第23条2項の別表(4)については、平成

24年度入学生から適用する。

- 12 本学則第 22 条および同 2 項については、平成 25 年度入学生から適用する。
- 13 本学則は平成 25 年 4 月 1 日から施行する。
- 14 本学則は平成 26 年 4 月 1 日から施行する。
- 15 本学則は平成 27 年 4 月 1 日から施行する。
- 16 本学則は平成 28 年 4 月 1 日より施行する。

別表（1）総合経営学部 総合経営学科

科目区分	科目名	単位数	開講年次	必選	備考	
ヒューマン ベシックス	人文科学	哲学	2	3・4	選択	
		生命倫理	2	3・4	選択	
		文学	2	3・4	選択	
		日本史	2	1	選択	
		外国史	2	2	選択	
		芸術文化	2	1	選択	
		地理学	2	1	選択	
		心理学	2	2	選択	
	社会科学	法律の基礎	2	1	必修	
		日本国憲法	2	1	選択	
		社会学	2	1	選択	
		経済入門	2	1	必修	
		地方自治論	2	2	選択	
		行政法	2	2	選択	
	自然科学	自然と産業	2	1	選択	
		環境問題	2	1	必修	
		基礎統計学	2	2	選択	
		地域環境と生態	2	2	選択	
自然地理		2	3・4	選択		
コモン ベシックス	情報リテラシー	情報処理Ⅰ（WORD）	1	1	必修	
		情報処理Ⅱ（EXCEL初級）	1	1	必修	
		情報処理Ⅲ（EXCEL上級）	1	2	選択	
		情報処理Ⅳ（パワーポイント）	1	2	選択	
		ホームページ作成	1	1	選択	
		ホームページ実践	1	2	選択	
		外国語	総合英語	1	1	必修
	観光英語		1	1	選択	
	時事英語		1	2	選択	
	ビジネス英語		1	2	選択	
	TOEICⅠ（入門）		1	1	選択	
	TOEICⅡ（初級）		1	1	選択	
	TOEICⅢ（中級）		1	2	選択	
	TOEICⅣ（実践レベル）		1	2	選択	
	中国語Ⅰ（基礎）		1	2	選択	
	中国語Ⅱ（展開）		1	2	選択	
	ハングルⅠ（基礎）		1	2	選択	
	ハングルⅡ（展開）	1	2	選択		
	外国語 コミュニ	英会話Ⅰ（入門）	1	1	選択	
		英会話Ⅱ（基礎）	1	1	選択	
		ホテル英会話	1	2	選択	
		トラベル英会話	1	2	選択	
		海外研修Ⅰ	2	1・2・3・4	選択	
		海外研修Ⅱ	2	1・2・3・4	選択	

科目区分		科目名	単位数	開講年次	必修	備考
コ モ ン ベ イ シ ッ ク ス	スポーツ 実技	生涯スポーツⅠ（基礎）	1	1	選択	
		生涯スポーツⅡ（展開）	1	1	選択	
	留 学 生 支 援	日本語入門（異文化理解基礎）	1	1	選択	
		日本語応用（異文化理解応用）	1	1	選択	
		日本事情Ⅰ（異文化理解基礎）	2	2	選択	
		日本事情Ⅱ（異文化理解応用）	2	2	選択	
導 入 科 目	大 学 共 通	地域社会と大学教育	2	1	必修	
		地域企業特論	2	1	選択	
		地域課題研究	2	1	選択	
		キャリア入門	2	1	選択	
		キャリア実践	1	3	選択	
	共 学 通 部	地域史（地誌）	2	1	選択	
	基礎ゼミナール	4	1	必修		
専 門 基 礎 科 目	総 合 経 営 基 礎 科 目	地域社会	2	1	必修	
		社会活動	2	2	選択	
		経営学総論	2	1	必修	
		観光概論	2	1	選択	
		社会福祉学入門	2	1	選択	
		簿記Ⅰ（基礎）	1	1	必修	
		マーケティング基礎	2	2	必修	
		ミクロ経済学	2	2	選択	
		マクロ経済学	2	2	選択	
		情報社会論	2	2	必修	
		中小企業論	2	2	選択	
		簿記Ⅱ（展開）	1	2	必修	
		専 門 発 展 科 目	（マ ネ ジ メ ン ト） 経 営 の 理 論	経営管理論	2	1
リーダーシップ論	2			2	選択	
人的資源管理Ⅰ（基礎）	2			2	必修	
人的資源管理Ⅱ（展開）	2			3・4	選択	
日本経済史	2			3・4	選択	
生産管理論	2			3・4	選択	
企業取引法	2			3・4	選択	
会社法	2			3・4	選択	
労働安全衛生法	2			3・4	選択	
労働と法	2			3・4	選択	
（会 計 フ ァ イ ナ ン ス） 経 営 の 理 論	所得税法		2	2	選択	
	法人税法		2	2	選択	
	上級簿記		1	2	選択	
	会計学		2	3・4	選択	
	管理会計		2	3・4	選択	
	ファイナンス		2	3・4	選択	

科目区分	科目名	単位数	開講年次	必選	備考	
専門 発展 科目	(経営の理論 ビジネス戦略)	流通総論	2	1	選択	
		マーケティング戦略	2	2	選択	
		経営組織論	2	2	選択	
		ビジネスコミュニケーション	2	3	必修	
		経営戦略論	2	3・4	必修	
		サービスマーケティング	2	3・4	選択	
		I Tビジネス論	2	3・4	選択	
		オペレーションズリサーチ	2	3・4	選択	
		社会調査論	2	3・4	選択	
		アグリビジネス経済学	2	3・4	選択	
		ビジネスシミュレーション	2	3・4	選択	
	I C T	情報倫理と法	2	1	選択	
		コンピュータ概論	2	2	選択	
		情報とビジネス	2	2	選択	
		マルチメディア論	2	2	選択	
		プログラミング論	2	2	選択	
		CGの基礎	1	2	選択	
		マルチメディア活用論	2	2	選択	
		情報システム論	2	2	選択	
		情報ネットワーク論	2	3・4	選択	
		CAD演習	1	3・4	選択	
		データベース論	2	3・4	選択	
	応用プログラミング論	2	3・4	選択		
	カ ウ ン セ リ ン グ	カウンセリング理論と技法	2	1	選択	
		臨床心理学	2	1	選択	
		パーソナリティ理論	2	2	選択	
		産業・組織心理学	2	2	選択	
		心理療法	2	2	選択	
		カウンセリング演習	2	3	選択	
	心理アセスメント	1	4	選択		

科目区分	科目名	単位数	開講年次	必修	備考	
専門 発展 科目	生活 マネ ジメン ト	生活マネジメント入門	2	1	必修	
		契約法	2	2	必修	
		金融論	2	2	選択	
		家族法	2	2	選択	
		生活環境論	2	2	選択	
		ワークライフバランス	2	3・4	選択	
		消費者行動論	2	3・4	選択	
		住環境論	2	3・4	選択	
		生活福祉論	2	3・4	選択	
		余暇生活論	2	3・4	選択	
		生活文化論	2	3・4	選択	
		ファッションビジネス	2	3・4	選択	
		フードマーケティング論	2	3・4	選択	
		フードマネジメント	2	3・4	選択	
	健康マネジメント	2	3・4	選択		
	現代育児論	2	3・4	選択		
	地域 産業	地域産業論	2	2	必修	
		コミュニティビジネス	2	2	選択	
		地域産業史	2	2	選択	
		観光産業論	2	2	選択	
		NPO	2	3・4	選択	
		国際経営論	2	3・4	選択	
		地域金融事情	2	3・4	選択	
アジア経済論		2	3・4	選択		
専門研究	専門研究	4	3	選択		
	卒業研究	4	4	選択必修		
公務員対策講座	公務員試験対策Ⅰ	2	3	選択		
	公務員試験対策Ⅱ	2	3	選択		
	公務員試験特講Ⅰ	2	3・4	選択		
	公務員試験特講Ⅱ	2	4	選択		
資格試験 対策講座	消費生活アドバイザーⅠ	2	1・2・3・4	選択		
	消費生活アドバイザーⅡ	2	1・2・3・4	選択		
	宅建講座Ⅰ	2	1・2・3・4	選択		
	宅建講座Ⅱ	2	1・2・3・4	選択		
	通関士講座	2	1・2・3・4	選択		
	貿易実務	2	1・2・3・4	選択		
	ファイナンシャルプランニングⅠ	2	1・2・3・4	選択		
	ファイナンシャルプランニングⅡ	2	1・2・3・4	選択		
	上級情報処理	2	1・2・3・4	選択		
	ITパスポート対策	2	1・2・3・4	選択		
	販売士資格対策	2	1・2・3・4	選択		
簿記受験対策	2	1・2・3・4	選択			
就職 支援 講座	社会教養Ⅰ（基礎）	2	3	選択		
	社会教養Ⅱ（発展）	2	3	選択		
	キャリア形成Ⅰ（基礎）	1	2	必修		
	キャリア形成Ⅱ（応用）	4	3	必修		
	キャリア形成Ⅲ（実践）	2	4	必修		
	ワークインフォメーション	2	4	選択必修		
	社会人になるために	2	4	選択必修		
	教育指導入門	2	2	選択		
職業指導論	2	2	選択			

※このカリキュラム表は平成28年度入学生より適用する。

総合経営学部 観光ホスピタリティ学科

科目区分	科目名	単位数	開講年次	必選	備考	
ヒューマンベシックス	人文科学	哲学	2	3・4	選択	
		生命倫理	2	3・4	選択	
		文学	2	3・4	選択	
		日本史	2	1	選択	
		外国史	2	2	選択	
		芸術文化	2	1	選択	
		地理学	2	1	選択	
		心理学	2	2	選択	
	社会科学	法律の基礎	2	1	必修	
		日本国憲法	2	1	選択	
		社会学	2	1	選択	
		経済入門	2	1	必修	
		地方自治論	2	2	選択	
		行政法	2	2	選択	
	自然科学	自然と産業	2	1	選択	
環境問題		2	1	必修		
基礎統計学		2	2	選択		
地域環境と生態		2	2	選択		
自然地理		2	3・4	選択		
コモンベシックス	情報リテラシー	情報処理Ⅰ (WORD)	1	1	必修	
		情報処理Ⅱ (EXCEL初級)	1	1	必修	
		情報処理Ⅲ (EXCEL上級)	1	2	選択	
		情報処理Ⅳ (パワーポイント)	1	2	選択	
		ホームページ作成	1	1	選択	
		ホームページ実践	1	2	選択	
	外国語	総合英語	1	1	必修	
		観光英語	1	1	選択	
		時事英語	1	2	選択	
		ビジネス英語	1	2	選択	
		TOEICⅠ (入門)	1	1	選択	
		TOEICⅡ (初級)	1	1	選択	
		TOEICⅢ (中級)	1	2	選択	
		TOEICⅣ (実践レベル)	1	2	選択	
		中国語Ⅰ (基礎)	1	2	選択	
		中国語Ⅱ (展開)	1	2	選択	
	外国語コミュニケーション	ハングルⅠ (基礎)	1	2	選択	
		ハングルⅡ (展開)	1	2	選択	
		英会話Ⅰ (入門)	1	1	選択	
		英会話Ⅱ (基礎)	1	1	選択	
		ホテル英会話	1	2	選択	
		トラベル英会話	1	2	選択	
		海外研修Ⅰ	2	1・2・3・4	選択	
海外研修Ⅱ	2	1・2・3・4	選択			

科目区分		科目名	単位数	開講年次	必選	備考
コモン ベシックス	スポーツ 実技	生涯スポーツⅠ（基礎）	1	1	選択	
		生涯スポーツⅡ（展開）	1	1	選択	
	留 学 生 支 援	日本語入門（異文化理解基礎）	1	1	選択	
		日本語応用（異文化理解応用）	1	1	選択	
		日本事情Ⅰ（異文化理解基礎）	2	2	選択	
		日本事情Ⅱ（異文化理解応用）	2	2	選択	
導 入 科 目	大 学 共 通	地域社会と大学教育	2	1	必修	
		地域企業特論	2	1	選択	
		地域課題研究	2	1	選択	
		キャリア入門	2	1	選択	
		キャリア実践	1	3	選択	
	共 学 通 部	地域史（地誌）	2	1	選択	
		基礎ゼミナール	4	1	必修	
専 門 基 礎 科 目	総 合 経 営 基 礎 科 目	地域社会	2	1	必修	
		社会活動	2	2	選択	
		経営学総論	2	1	必修	
		観光概論	2	1	必修	
		社会福祉学入門	2	1	選択	
		簿記Ⅰ（基礎）	1	1	必修	
		マーケティング基礎	2	2	必修	
		ミクロ経済学	2	2	選択	
		マクロ経済学	2	2	選択	
		情報社会論	2	2	必修	
		中小企業論	2	2	選択	
		簿記Ⅱ（展開）	1	2	必修	
		専 門 発 展 科 目	観 光 経 営	観光戦略	2	2
国際観光	2			2	選択	
経済学(含国際経済学)	2			2	選択	
契約法	2			2	選択	
観光産業論	2			2	必修	
人的資源管理	2			2	選択	
宿泊経営	2			3・4	選択	
サービスマーケティング	2			3・4	選択	
日本経済史	2			3・4	選択	
社会調査論	2			3・4	選択	
コンベンションビジネス	2			3・4	選択	
地域振興と観光	2			3・4	選択	
プライダル総論	2			3・4	選択	
文化遺産論	2			3・4	選択	
ツ ー リ ズ ム	エコツーリズムⅠ（理論）			2	1	必修
	エコツーリズムⅡ（実践）		2	1	選択	
	観光約款		2	1	選択	
	旅行業法		2	1	選択	
	観光地理Ⅰ（日本）		2	1	選択	
	景観と観光		2	2	選択	
	観光地理Ⅱ（世界）		2	3・4	選択	
	グリーンツーリズム		2	3・4	選択	
	健康と観光		2	3・4	選択	
	自然体験活動論Ⅰ（理論）		2	3・4	選択	
自然体験活動論Ⅱ（実践）	2		3・4	選択		
人文地理	2	3・4	選択			
ツアープランニング	2	3・4	選択			
民族と文化	2	3・4	選択			

科目区分	科目名	単位数	開講年次	必選	備考	
専門 発展 科目	ホスピタリティ	コミュニケーションスキル	2	1	必修	
		ホスピタリティ入門	2	2	選択	
		UD入門	2	2	選択	
		接遇演習	1	2	選択	
		観光コミュニケーションⅠ（ホスピタリティ英語）	2	2	選択	
		観光コミュニケーションⅡ（ガイド英語）	2	2	選択	
		余暇生活論	2	3・4	選択	
		生活文化論	2	3・4	選択	
		バリアフリー観光	2	3・4	必修	
	地域政策	地域産業史	2	2	選択	
		コミュニティビジネス	2	2	選択	
		地域行政	2	2	選択	
		リーダーシップ論	2	2	選択	
		生活環境論	2	2	選択	
		家族法	2	2	選択	
		NPO	2	3・4	選択	
		地域ブランド	2	3・4	選択	
		環境政策	2	3・4	選択	
		企業取引法	2	3・4	選択	
		会社法	2	3・4	選択	
		労働安全衛生法	2	3・4	選択	
		労働と法	2	3・4	選択	
		食文化	2	3・4	選択	
		食材と農業	2	3・4	選択	
	福祉理論	博物館資料論	2	3	選択	
		博物館情報・メディア論	2	3	選択	
		博物館経営論	2	4	選択	
		医学概論Ⅰ（医学入門）	2	1	選択	
		医学概論Ⅱ（公衆衛生学）	2	1	選択	
		社会福祉概論Ⅰ	2	1	必修	
		社会福祉概論Ⅱ	2	1	選択	
		福祉心理支援	2	2	選択	
		児童福祉	2	2	選択	
		障がい福祉	2	2	選択	
		高齢者福祉論Ⅰ	2	2	選択	
		高齢者福祉論Ⅱ	2	2	選択	
地域福祉Ⅰ	2	2	選択			
地域福祉Ⅱ	2	2	選択			
司法福祉Ⅰ	2	3・4	選択			
司法福祉Ⅱ	1	3・4	選択			
社会保障論Ⅰ	2	3・4	選択			
社会保障論Ⅱ	2	3・4	選択			
介護概論	2	2	選択			

科目区分	科目名	単位数	開講年次	必選	備考	
専門 発展 科目	福祉づくり	ソーシャルワークⅠ	2	2	選択	
		ソーシャルワークⅡ	2	2	選択	
		社会福祉援助技術Ⅰ	2	2	選択	
		社会福祉援助技術Ⅱ	2	2	選択	
		社会福祉援助技術Ⅲ	2	3・4	選択	
		社会福祉援助技術Ⅳ	2	3・4	選択	
		社会福祉調査	2	3・4	選択	
		社会福祉行政	2	3・4	選択	
		社会福祉経営	2	3・4	選択	
		福祉就労支援	1	3・4	選択	
		公的扶助論	2	3・4	選択	
		社会福祉演習Ⅰ	4	3	選択	
		社会福祉演習Ⅱ	4	4	選択	
		介護技術	2	3・4	選択	
専門研究	専門研究	4	3	選択		
	卒業研究	4	4	選択必修		
公務員対策講座	公務員試験対策Ⅰ	2	3	選択		
	公務員試験対策Ⅱ	2	3	選択		
	公務員試験特講Ⅰ	2	3・4	選択		
	公務員試験特講Ⅱ	2	4	選択		
資格試験 対策講座	国内旅行業務実務	2	1・2・3・4	選択		
	総合旅行業務実務	2	2・3・4	選択		
	社会福祉士資格対策演習Ⅰ	2	4	選択		
	社会福祉士資格対策演習Ⅱ	2	4	選択		
就職 支援 講座	社会教養Ⅰ（基礎）	2	3	選択		
	社会教養Ⅱ（発展）	2	3	選択		
	キャリア形成Ⅰ（基礎）	1	2	必修		
	キャリア形成Ⅱ（応用）	4	3	必修		
	キャリア形成Ⅲ（実践）	2	4	必修		
	ワークインフォメーション	2	4	選択必修		
	社会人になるために	2	4	選択必修		
	教育指導入門	2	2	選択		
職業指導論	2	2	選択			

資格取得予定者のみ履修できる科目（卒業単位に含まれない）

資格 科目	福祉 社会 士	社会福祉実習指導Ⅰ	3	3	選択	
		社会福祉実習指導Ⅱ	3	4	選択	
		社会福祉実習Ⅰ	6	3	選択	
		社会福祉実習Ⅱ	6	4	選択	
	教職	社会福祉総合実習の事前・事後指導	1	3・4	選択	
		社会福祉総合実習	2	4	選択	
	学芸 員	生涯学習概論	2	3	選択	
		博物館概論	2	2	選択	
		博物館資料保存論	2	3	選択	
		博物館展示論	2	3	選択	
		博物館教育論	2	3	選択	
博物館実習	3	4	選択			

※このカリキュラム表は平成28年度入学生より適用する。

人間健康学部 健康栄養学科

科目区分	科目名	単位	開講年次	必修	備考	
専門基礎科目	社会環境と健康	QOLと健康	2	1	選択	
		医療社会学	2	1	選択	
		栄養情報処理	2	1	選択	
		栄養統計学	2	2	選択	
		生活習慣病と予防	2	2	選択	
		公衆衛生学Ⅰ	2	2	必修	
		公衆衛生学Ⅱ	2	2	必修	
		社会福祉概論	2	2	必修	
	衛生管理学	2	3・4	選択		
	機能・人体の構造と成り立ち	解剖学Ⅰ	2	1	必修	
		解剖学Ⅱ（含実習）	3	1	必修	
		医学概論	2	1	必修	
		生理学	2	2	必修	
		生化学	2	2	必修	
		微生物学	2	2	必修	
		病理学	2	2	必修	
		生理学実習	1	2	必修	
		生化学実験	1	2	必修	
		分子生物学	2	2	選択	
	臨床医学各論Ⅰ	2	3	選択		
	臨床医学各論Ⅱ	2	3	選択		
	食べ物と健康	食生活論	2	1	選択	
		食品学実験	1	1	必修	
		調理学実習Ⅰ	1	1	必修	(含加工実験)
		調理学実習Ⅱ	1	1	必修	
		食品学総論	2	1	必修	
		食品学各論	2	1	必修	(含加工学)
		食品衛生学	2	1	必修	
		食品化学実験	1	1	必修	
		調理学	2	1	必修	
		食品衛生学実験	1	2	必修	
		応用調理学実習	1	2	必修	
		食品機能論	2	3	必修	
食品微生物学		2	3	選択	(含実験)	
食品の官能評価・鑑別法		1	3	選択	(統計処理を含む)	
専門科目		栄養基礎	基礎栄養学	2	1	必修
	基礎栄養学実験		1	2	必修	
	分子栄養学		2	3・4	選択	
	応用栄養	応用栄養学Ⅰ	2	2	必修	(理論と実践)
		応用栄養学Ⅱ	2	2	必修	(理論と実践)
		食事摂取基準論	2	2	必修	
		応用栄養学実習	1	3	必修	
		スポーツ栄養学	2	3・4	選択	
	栄養教育論	基礎カウンセリング演習	2	2	必修	
		栄養教育論Ⅰ	2	2	必修	
		栄養教育論Ⅱ	2	3	必修	
		栄養教育実習	1	3	必修	
	臨床栄養学	臨床栄養学総論Ⅰ	2	3	必修	
		臨床栄養学各論Ⅰ	2	3	選択	
		臨床栄養学実習Ⅰ	1	3	必修	
		臨床栄養学総論Ⅱ	2	3	選択	
		臨床栄養学各論Ⅱ	2	3	選択	
		臨床栄養学実習Ⅱ	1	3	選択	

科目区分	科目名	単位	開講年次	必修	備考	
専門科目	栄養学 公衆	公衆栄養学Ⅰ	2	3	必修	
		公衆栄養学Ⅱ	2	3	選択	
		公衆栄養学実習	1	3	選択	
	経営管理 給食	給食計画論	1	2	必修	
		給食実務論	1	2	必修	
		給食管理実習	1	2	必修	
		給食経営管理論	2	2	必修	
		給食経営管理実習	1	3	必修	
	実習 臨床	臨床実習Ⅰ（給食の運営）	1	3	必修	
		臨床実習Ⅱ（給食経営管理論・臨床栄養学）	2	4	選択	
		臨床実習Ⅲ（公衆栄養学）	1	4	選択	
	総合演習	総合栄養学演習Ⅰ	1	3	選択	
		総合栄養学演習Ⅱ	1	3	選択	（含臨床実習事前事後指導）
		総合栄養学演習Ⅲ	1	4	選択	（含臨床実習事前事後指導）
		総合栄養学演習Ⅳ	1	4	選択	
	演習	健康栄養演習	2	3	必修	
卒業研究		4	4	必修		
関連科目	リスト フード スタ	食品流通論	2	2	選択	
		フードスペシャリスト論	2	2	選択	
		フードマネジメント論	2	3・4	選択	（含マーケティング論）
		フードコーディネーター論	2	3・4	選択	
	健康運動実践指導者	スポーツ心理学	2	3・4	選択	
		健康管理論	2	3・4	選択	
		スポーツ外傷・障害学	2	3・4	選択	
		スポーツ医学	2	3・4	選択	
		トレーニング科学の理論と実際	2	3・4	選択	
		健康づくりと運動	2	3・4	選択	
		レクリエーション論	2	3・4	選択	
		スポーツ実技Ⅲ（水中運動）	1	3・4	選択	
		安全・救急法（含実習）	2	3・4	選択	
		スポーツと栄養	2	3・4	選択	（運動指導者のための栄養学）
		運動生理学	2	3・4	選択	
		体力測定と評価	2	3・4	選択	
		スポーツ実技Ⅱ（エアロビックダンス）	1	3・4	選択	
		発育発達論	2	3・4	選択	
		機能解剖学	2	3・4	選択	
		健康運動指導実習Ⅰ	1	3・4	選択	
ヒューマンベシックス	人文科学	哲学	2	3・4	選択	
		生命倫理	2	1	選択	
		文学	2	3・4	選択	
		日本史	2	3・4	選択	
		文化人類学	2	1	選択	
		対人関係の心理学	2	1	選択	
		心理学	2	2	選択	
	子どもの育ちと教育	2	3・4	選択		
	社会科学	法学（含日本国憲法）	2	1	選択	
		新聞に見る社会の動き	2	1	選択	
		死と死につつあることの社会学	2	2	選択	
		食の社会学	2	2	選択	
		地域社会とエコツーリズム	2	3・4	選択	
		地域環境と民度	2	2	選択	
ごみ処理と循環型社会		2	3・4	選択		
労働安全衛生法	2	3・4	選択			
労働と法	2	3・4	選択			

科目区分		科目名	単位	開講年次	必修	備考
ヒューマンベシックス	自然科学	基礎生物学	2	1	選択	
		基礎化学Ⅰ（無機）	2	1	選択	
		数学の基礎	2	1	選択	
		基礎化学Ⅱ（有機）	2	1	選択	
		基礎統計学	2	1	必修	
		地球環境と人間生活	2	1	選択	
		力学の基礎	2	1	選択	
		運動と物理学	2	2	選択	
		地域環境と生態	2	3・4	選択	
		バイオメディカル文章理解	2	3・4	選択	
		コモンベシックス	情報リテラシー	情報処理Ⅰ（WORD）	1	1
情報処理Ⅱ（EXCEL初級）	1			1	必修	
情報処理Ⅲ（EXCEL上級）	1			1	選択	
情報処理Ⅳ（パワーポイント）	1			1	選択	
ホームページ作成	1			2	選択	
外国語	英語Ⅰ（基礎）		1	1	必修	
	英語Ⅱ（初級）		1	1	選択	
	英語Ⅲ（中級）		1	2	選択	
	英語Ⅳ（上級）		1	2	選択	
	TOEICⅠ（入門）		1	1	選択	
	TOEICⅡ（初級）		1	1	選択	
	TOEICⅢ（中級）		1	2	選択	
	TOEICⅣ（実践レベル）		1	2	選択	
	中国語Ⅰ（基礎）		1	3・4	選択	
	中国語Ⅱ（展開）		1	3・4	選択	
ケーション 外国語コミュニケーション	ハングルⅠ（基礎）		1	3・4	選択	
	ハングルⅡ（展開）		1	3・4	選択	
	英会話Ⅰ（入門）		1	1	選択	
	英会話Ⅱ（基礎）		1	1	選択	
	英会話Ⅲ（実践）		1	2	選択	
	英会話Ⅳ（応用）		1	2	選択	
	海外研修Ⅰ		2	1・2・3・4	選択	
	海外研修Ⅱ		2	1・2・3・4	選択	
スポーツ実技	スポーツⅠ（サッカー）		1	1	選択	
	スポーツⅦ（テニス）		1	1	選択	
	スポーツⅡ（バレーボール）		1	1	選択	
	スポーツⅢ（ニュースポーツ）		1	2	選択	
	スポーツⅣ（バドミントン・卓球）		1	2	選択	
	スポーツⅤ（エアロビクス）		1	1	選択	
	スポーツⅥ（バスケットボール）		1	2	選択	
	ヨット		1	1・2・3・4	選択	
	スノーボード		1	1・2・3・4	選択	
支学生 留學生	日本事情Ⅰ		2	1・2	選択	
	日本事情Ⅱ	2	1・2	選択		
	日本語入門（異文化理解基礎）	1	1・2	選択		
	日本語応用（異文化理解応用）	1	1・2	選択		
導入科目	大学共通	地域社会と大学教育	2	1	必修	
		地域課題研究	2	1	選択	
		地域企業特論	2	1	選択	
		キャリア入門	2	1	選択	
		キャリア実践	1	3	選択	
	学部共通	EQキャリア概論	2	1	選択	
		大学入門	2	1	必修	
		キャリアデザインⅠ	1	2	必修	
		キャリアデザインⅡ	1	3	必修	
		マナーと接遇	1	4	選択	
EQキャリア論	2	3・4	選択			

※このカリキュラム表は平成28年度入学生より適用する。

人間健康学部 スポーツ健康学科

科目区分	科目名	単位	開講年次	必選	備考	
専門基礎科目	運動の基礎	現代スポーツ論	2	1	必修	
		体育原理	2	1	必修	
		スポーツ心理学	2	1	必修	
		レクリエーション論	2	1	選択	
		運動学	2	2	必修	
		近代スポーツ史	2	1	必修	
		グループワーク・トレーニング	1	2	選択	
		スポーツマネジメント論	2	2	選択	
		スポーツと法	2	2	必修	
		スポーツコーチング論	2	3・4	選択	
	衛生・保健	健康づくりと運動	2	1	必修	
		生理学	2	1	必修	
		QOLと健康	2	1	選択	
		医学概論	2	1	選択	
		健康管理論	2	1	選択	
		衛生・公衆衛生学概論	2	2	選択	
		薬理学	2	2	選択	
		衛生管理学	2	2	選択	
		安全・救急法(含実習)	2	2	必修	
		発育発達論	2	2	必修	
機能解剖学		2	2	必修		
医療社会学		2	2	選択		
精神保健論	2	2	選択			
健康情報処理	2	2	選択			
スポーツと栄養	スポーツと栄養	2	2	必修	(運動指導者のための栄養学)	
	栄養学概論	2	1	選択		
専門科目	スポーツ医学	スポーツ外傷・障害学	2	2	選択	
		運動適応論	2	2	選択	
		運動生理学	2	2	選択	
		スポーツ医学	2	3・4	選択	
		学校保健学(含小児保健)	2	3・4	選択	
		リハビリテーション概論	2	3・4	選択	
		運動と遺伝子	2	3・4	選択	
		メディカルチェックの理論と実習	2	3・4	選択	
	トレーニング科学	トレーニング科学の理論と実際	2	2	選択	
		体力測定と評価	2	2	選択	
		メンタルトレーニング	2	1	選択	
		運動と物理学	2	2	選択	
		運動処方論	2	3・4	選択	
		トレーナー実習	1	3・4	選択	
	健康づくり	健康運動指導実習Ⅰ	1	1	選択	
		看護学概論(セルフヘルスケア)	2	1	選択	
		生活習慣病と予防	2	2	選択	
		健康運動指導実習Ⅱ	1	2	選択	
健康運動指導現場実習Ⅰ		1	3	選択	(補助実習)	
健康運動指導現場実習Ⅱ		1	4	選択	(指導実習)	

科目区分	科目名	単位	開講年次	必選	備考	
専門科目	スポーツの振興	スポーツメディア論	2	2	選択	
		地域社会とスポーツ	2	2	選択	
		プロ・スポーツ論	2	2	選択	
		スポーツビジネス論	2	3・4	選択	
		スポーツ行政・政策論	2	3・4	選択	
		スポーツ・マーケティング論	2	3・4	選択	
	レクリエーション	レクリエーション実技Ⅰ（ゲーム）	1	1	選択	
		レクリエーション実技Ⅱ（芸術・文化）	1	1	選択	
		レクリエーションサービス論	2	2	選択	
		レクリエーション支援実習	1	3	選択	
	介護技術	介護職員初任者研修	6	1・2・3・4	選択	
	専門スポーツ	体育実技Ⅰ（体づくり・ダンス）	1	2	選択	
		体育実技Ⅱ（器械運動）	1	1	選択	
		体育実技Ⅲ（陸上競技）	1	3	選択	
		体育実技ⅣA（バレーボール）	1	2	選択	
		体育実技ⅣB 1（テニス）	1	1	選択	
		体育実技ⅣB 2（卓球）	1	1	選択	
		体育実技ⅣC（バドミントン）	1	1	選択	
		体育実技ⅤA（バスケットボール）	1	2	選択	
		体育実技ⅤB（サッカー）	1	1	選択	
		体育実技ⅤC（ハンドボール）	1	1	選択	
		体育実技Ⅵ（ソフトボール）	1	2	選択	
		体育実技Ⅶ 1（柔道）	1	2	選択	
		体育実技Ⅶ 2（剣道）	1	2	選択	
		体育実技Ⅷ（水泳）	1	1	選択	
		スポーツ実技Ⅰ（ニュースポーツ）	1	1	選択	
		スポーツ実技Ⅱ（エアロビックダンス）	1	1	選択	
		スポーツ実技Ⅲ（水中運動）	1	2	選択	
		スポーツ実技Ⅳ（フィットネス）	1	2	選択	
		ヨット	1	1・2・3・4	選択	
		スノーボード	1	1・2・3・4	選択	
		野外活動	1	2	選択	
		野外教育Ⅰ	1	3・4	選択	
野外教育Ⅱ		1	3・4	選択		
演習	スポーツ科学入門	2	2	必修		
	スポーツ健康演習	2	3	必修		
	卒業研究	4	4	必修		
ヒューマンベシックス	人文科学	哲学	2	3・4	選択	
		生命倫理	2	1	選択	
		文学	2	3・4	選択	
		日本史	2	3・4	選択	
		文化人類学	2	1	選択	
		対人関係の心理学	2	1	選択	
		心理学	2	2	選択	
		子どもの育ちと教育	2	3・4	選択	
	社会科学	法学（含日本国憲法）	2	1	選択	
		新聞に見る社会の動き	2	1	選択	
		死と死につつあることの社会学	2	2	選択	
		食の社会学	2	2	選択	
		地域社会とエコツーリズム	2	3・4	選択	
		地域環境と民度	2	2	選択	
		ごみ処理と循環型社会	2	3・4	選択	
		労働安全衛生法	2	3・4	選択	
		労働と法	2	3・4	選択	

科目区分	科目名	単位	開講年次	必選	備考	
ヒューマンベシックス	自然科学	基礎生物学	2	1	選択	
		基礎化学Ⅰ（無機）	2	1	選択	
		数学の基礎	2	1	選択	
		基礎統計学	2	1	必修	
		地球環境と人間生活	2	1	選択	
		生活の中の有機化学	2	2	選択	
		力学の基礎	2	1	選択	
		分子生物学	2	2	選択	
		分子栄養学	2	3・4	選択	
		地域環境と生態	2	3・4	選択	
		バイオメディカル文章理解	2	3・4	選択	
コモンベシックス	情報 リテラシー	情報処理Ⅰ（WORD）	1	1	必修	
		情報処理Ⅱ（EXCEL初級）	1	1	必修	
		情報処理Ⅲ（EXCEL上級）	1	1	選択	
		情報処理Ⅳ（パワーポイント）	1	1	選択	
		ホームページ作成	1	2	選択	
	外国語	英語Ⅰ（基礎）	1	1	必修	
		英語Ⅱ（初級）	1	1	選択	
		英語Ⅲ（中級）	1	2	選択	
		英語Ⅳ（上級）	1	2	選択	
		TOEICⅠ（入門）	1	1	選択	
		TOEICⅡ（初級）	1	1	選択	
		TOEICⅢ（中級）	1	2	選択	
		TOEICⅣ（実践レベル）	1	2	選択	
		中国語Ⅰ（基礎）	1	3・4	選択	
		中国語Ⅱ（展開）	1	3・4	選択	
	コミュニケーション 外国語	ハングルⅠ（基礎）	1	3・4	選択	
		ハングルⅡ（展開）	1	3・4	選択	
		英会話Ⅰ（入門）	1	1	選択	
		英会話Ⅱ（基礎）	1	1	選択	
		英会話Ⅲ（実践）	1	2	選択	
		英会話Ⅳ（応用）	1	2	選択	
		海外研修Ⅰ	2	1・2・3・4	選択	
海外研修Ⅱ	2	1・2・3・4	選択			
留学生 支援	日本事情Ⅰ	2	1・2	選択		
	日本事情Ⅱ	2	1・2	選択		
	日本語入門（異文化理解基礎）	1	1・2	選択		
	日本語応用（異文化理解応用）	1	1・2	選択		
導入科目	大学共通	地域社会と大学教育	2	1	必修	
		地域課題研究	2	1	選択	
		地域企業特論	2	1	選択	
		キャリア入門	2	1	選択	
		キャリア実践	1	3	選択	
	学部共通	EQキャリア概論	2	1	選択	
		大学入門	2	1	必修	
		マナーと接遇	1	2	必修	
		キャリアデザインⅠ	1	2	必修	
		キャリアデザインⅡ	1	3	必修	
		EQキャリア論	2	3・4	選択	

※このカリキュラム表は平成28年度入学生より適用する。

別表 (2)

栄養士の資格取得に必要な授業科目・単位数 (第22条2に関する科目)

	栄養士学校 指定規則に定める 教育内容	単位数		本学が開講する授業科目	配 当 年 次	単位数		備考
		講義 又は 演習	実験 又は 実習			講義又 は 演習 必修	実験又 は 実習 必修	
専 門 分 野	社会生活と健康	4		公衆衛生学Ⅰ	2	2		
				公衆衛生学Ⅱ	2	2		
				社会福祉概論	2	2		
				小計		6		
	人体の構造と機能	8	4	生理学	2	2		
				生理学実習	2		1	
				解剖学Ⅰ	1	2		
				解剖学Ⅱ (含実習)	1	2	1	
				生化学	2	2		
				生化学実験	2		1	
				医学概論	1	2		
	小計		10	3				
	食品と衛生	6		食品学総論	1	2		
				食品学各論	1	2		
				食品機能論	3	2		
				食品衛生学	1	2		
				食品衛生学実験	2		1	
	小計		8	1				
	栄養と健康	8	10	基礎栄養学	1	2		
基礎栄養学実験				2		1		
応用栄養学Ⅱ				2	2			
応用栄養学実習				3		1		
食事摂取基準論				2	2			
臨床栄養学総論Ⅰ				3	2			
臨床栄養学実習Ⅰ				3		1		
小計		8	3					
栄養の指導	6	10	栄養教育論Ⅰ	2	2			
			栄養教育論Ⅱ	3	2			
			栄養教育実習	3		1		
			公衆栄養学Ⅰ	3	2			
小計		6	1					
給食の運営	4	10	調理学	1	2			
			調理学実習Ⅰ	1		1		
			調理学実習Ⅱ	1		1		
			応用調理学実習	2		1		
			給食計画論	2	1			
			給食実務論	2	1			
			給食管理実習	2		1		
			給食経営管理論	2	2			
			給食経営管理実習	3		1		
			臨地実習Ⅰ (給食の運営)	3		1		
小計		6	6					
合計	36	14	合計			44	14	
	50					58		

別表 (3)

管理栄養士の国家試験受験資格取得に必要な授業科目・単位数 (第22条2に関する科目)

	管理栄養士学校 指定規則に定める 教育内容	単位数		本学が開講する授業科目	配 当 年 次	単位数		備考
		講義 又は 演習	実験 又は 実習			講義又 は 演習	実験又 は 実習	
						必修	必修	
専 門 基 礎 分 野	社会環境と健康	6		公衆衛生学Ⅰ	2	2		
				公衆衛生学Ⅱ	2	2		
				社会福祉概論	2	2		
				小計		6		
	人体の構造と機能・ 疾病の成り立ち	14	10	生理学	2	2		
				生理学実習	2		1	
				解剖学Ⅰ	1	2		
				解剖学Ⅱ (含実習)	1	2	1	
				生化学	2	2		
				生化学実験	2		1	
				微生物学	2	2		
				病理学	2	2		
				医学概論	1	2		
				臨床医学各論Ⅰ	3	2		
	臨床医学各論Ⅱ	3	2					
小計			18	3				
食べ物と健康	8		食品学総論	1	2			
			食品学各論	1	2			
			食品学実験	1		1		
			食品機能論	3	2			
			食品衛生学	1	2			
			食品衛生学実験	2		1		
			食品化学実験	1		1		
			調理学	1	2			
			調理学実習Ⅰ	1		1		
			調理学実習Ⅱ	1		1		
			応用調理学実習	2		1		
			食品の官能評価・鑑別法 (統計処理を含む)	3		1		
			小計			10	7	
計	28	10	計		34	10		

	管理栄養士学校 指定規則に定める 教育内容	単位数		本学が開講する授業科目	配 当 年 次	単位数		備考
		講義 又は 演習	実験 又は 実習			講義又 は 演習	実験又 は 実習	
専 門 分 野	基礎栄養学	2	8	基礎栄養学	1	2		
				基礎栄養学実験	2		1	
			小計			2	1	
	応用栄養学	6	8	応用栄養学Ⅰ	2	2		
				応用栄養学Ⅱ	2	2		
				応用栄養学実習	3		1	
				食事摂取基準論	2	2		
			小計			6	1	
	栄養教育論	6	8	栄養教育論Ⅰ	2	2		
				栄養教育論Ⅱ	3	2		
				栄養教育実習	3		1	
				基礎カウンセリング演習	2	2		
			小計			6	1	
	臨床栄養学	8	8	臨床栄養学総論Ⅰ	3	2		
				臨床栄養学総論Ⅱ	3	2		
				臨床栄養学各論Ⅰ	3	2		
臨床栄養学各論Ⅱ				3	2			
臨床栄養学実習Ⅰ				3		1		
臨床栄養学実習Ⅱ				3		1		
				小計			8	2
公衆栄養学	4	8	公衆栄養学Ⅰ	3	2			
			公衆栄養学Ⅱ	3	2			
			公衆栄養学実習	3		1		
		小計			4	1		
給食経営管理	4	8	給食計画論	2	1			
			給食実務論	2	1			
			給食管理実習	2		1		
			給食経営管理論	2	2			
			給食経営管理実習	3		1		
		小計			4	2		
総合演習	2	8	総合栄養学演習Ⅱ（臨地実習事前事後指導）	3	1			
			総合栄養学演習Ⅲ（臨地実習事前事後指導）	4	1			
		小計			2			
臨地実習		4	臨地実習Ⅰ（給食の運営）	3		1		
			臨地実習Ⅱ（給食経営管理論・臨床栄養学）	4		2		
			臨地実習Ⅲ（公衆栄養学）	4		1		
		小計				4		
計		32	12	計		32	12	
合計		60	22	合計		66	22	
		82				88		

別表（４）

博物館に関する科目

授業科目	単位数
生涯学習概論	2
博物館概論	2
博物館経営論	2
博物館資料論	2
博物館資料保存論	2
博物館展示論	2
博物館教育論	2
博物館情報・メディア論	2
博物館実習	3

別表（５）

司書教諭に関する科目

授業科目	単位数
学校経営と学校図書館	2
学校図書館メディアの構成	2
学習指導と学校図書館	2
読書と豊かな人間性	2
情報メディアの活用	2

別表（６）

1) 平成27年度以前の入学生適用

学部学科名 費目	総合経営学部		人間健康学部	
	総合経営学科	観光ホスピタリティ学科	健康栄養学科	スポーツ健康学科
入学検定料	35,000 円	35,000 円	35,000 円	35,000 円
入学金(入学時のみ)	250,000 円	250,000 円	250,000 円	250,000 円
授業料(年額)	700,000 円	700,000 円	800,000 円	800,000 円
施設費(年額)	250,000 円	250,000 円	300,000 円	300,000 円
実習費(年額)	0 円	0 円	100,000 円	0 円

なお、大学入試センター試験を利用する際の入学検定料は別途定める。

休学中の在籍料は次のとおりとする。

年額 50,000円 前期 25,000円 後期 25,000円

2) 平成28年度入学生適用

学部学科名 費目	総合経営学部		人間健康学部	
	総合経営学科	観光ホスピタリティ学科	健康栄養学科	スポーツ健康学科
入学検定料	35,000 円	35,000 円	35,000 円	35,000 円
入学金(入学時のみ)	250,000 円	250,000 円	250,000 円	250,000 円
授業料(年額)	700,000 円	700,000 円	800,000 円	800,000 円
施設費(年額)	280,000 円	280,000 円	330,000 円	330,000 円
実習費(年額)	0 円	0 円	100,000 円	0 円

なお、大学入試センター試験を利用する際の入学検定料は別途定める。

休学中の在籍料は次のとおりとする。

年額 50,000円 前期 25,000円 後期 25,000円